

第4章 参加と協働による環境保全への取り組み

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」の開設準備を進め、平成22年4月、徳島市東沖洲のマリンピア沖洲にオープンしました。

今後は、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組みます。

環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市東沖洲一丁目23番地
面積・施設等機能	1階 事務室75.75㎡、会議室16.87㎡ 2階 会議室45.9㎡ 事務所、会議室、展示スペース、周辺は環境学習のフィールド
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 「環境活動実践センター機能」「環境学習サポートセンター機能」、「地球温暖化防止活動推進センター機能」の3つの機能を一箇所に集約して、環境学習サービスのワンストップ化の実現 子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境活動実践活動機能	<p>産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動・環境施策の企画から実践までを幅広く支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会実験や実証実験など実践に結びつく調査・研究、環境NPO等の支援・交流
環境学習サポートセンター機能	<p>学校や地域における環境学習・教育を総合的・体系的に推進するとともに、地域環境力を高めるための人づくりを支援するなど、環境学習・教育を人材・知識面等から総合的にサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> とくしま環境学講座等の各種環境関係講座の開催 環境関係の図書、DVDソフト、資料、展示パネルの貸出 地域や職場、学校での環境に関する講座、セミナー、イベント等に専門的知識を備えた環境アドバイザーの派遣 インターネット上のウェブサイト「とくしま環境首都学校」において、県内で実施される各種環境関係イベント、講座等を紹介
地球温暖化防止活動推進センター機能	<p>本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」「情報提供」「民官団体の活動支援」等を総合的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 <p>※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人 環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。</p>

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の推進

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年2月に策定しました。

この方針に基づき、平成21年度においては次の施策を実施しました。

(1) 環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取り組みに対し、支援を行いました。

県内の7団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成22年2月開催）でその成果を発表しました。

(2) 「学校版環境ISO」認証取得の推進

「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、小・中・高・特別支援学校の児童生徒、教職員が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進しています。

実施校では、児童生徒、教職員がそれぞれの実態に応じた目標を考え、数値的な指標を設定するなど特色ある活動を展開します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成21年度末には、小・中学校、高等学校、特別支援学校を含めて192校が認定を受けて活動をしています。

表2-4-1 平成21年度「学校版環境ISO」認定校

校種	市町村名	学校名	
小学校 (46校)	徳島市	飯谷小学校	
		不動小学校	
		応神小学校	
	鳴門市	鳴門西小学校	
		大津西小学校	
		北灘東小学校	
		北灘西小学校	
		堀江北小学校	
	阿南市	川崎小学校	
		長生小学校	
		桑野小学校	
		平島小学校	
	吉野川市	岩脇小学校	
		牛島小学校	
		鴨島小学校	
		飯尾敷地小学校	
		森山小学校	
		知恵島小学校	
		川島小学校	
	阿波市	種野小学校	
		柿原小学校	
		八幡小学校	
		市場小学校	
			伊沢小学校

	美馬市	清水小学校
		喜来小学校
	三好市	箸蔵小学校
		馬路小学校
		三縄小学校
		川崎小学校
		山城小学校
		大野小学校
		大和小学
		下名小学
		西井川小学
		井内小学
		落合小学
		菅生小学
		名頃小学
	櫟生小学	
	※西岡小学	
	北島町	北島北小学
		北島小学
		北島南小学
つるぎ町	貞光小学	
東みよし町	三庄小学	
中学校 (10校)	阿南市	福井中学
	吉野川市	鴨島東中学
		鴨島第一中学
		川島中学
		山川中学
	三好市	東祖谷中学
		西祖谷中学
	上勝町	上勝中学
那賀町	上那賀中学	
藍住町	藍住東中学	
高等学校・特別支援学校 (27校)	県立	城南高等学校
		徳島北高等学校
		徳島市立高等学校
		徳島科学技術高等学校(全)
		徳島科学技術高等学校(定)
		徳島商業高等学校
		徳島中央高等学校(夜定)
		徳島中央高等学校(昼定)
		小松島高等学校
		小松島西高等学校
		富岡東高等学校(全)
		富岡東高等学校(定)
		富岡東高等学校羽ノ浦校
		海部高等学校
		鳴門高等学校(定)
		鳴門第一高等学校
		鳴門市立鳴門工業高等学校
		名西高等学校(全)
		名西高等学校(定)
		脇町高等学校
辻高等学校		

		豊	学	校
		板	野	支
		鴨	島	支
		ひ	の	み
		阿	南	支
		阿	南	支

※西岡小学校は、平成21年度末で休校となりました。

(3) エコリーダー養成講座

学校版環境ISOの認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、第1回目は「環境保全、今、私たちにできること」のテーマで環境教育の目的・学校版環境ISO・とくしま環境学習プログラムについて講話を行いました。第2回目は「学校版環境ISOと環境教育 ～学校から地域への展開～」をテーマとして講話を行いました。

(4) 環境教育講座の開催

環境教育の充実に向けて、教員の指導力の向上を図るため、県教育委員会では平成5年度から、環境教育講座を開催し、実践事例の発表や環境教育の内容についての研修などを実施しています。

平成21年度は、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象に、徳島県立総合教育センターにおいて「環境学習プログラムを取り入れた環境教育」についての研修を行いました。

(5) 環境首都あどぶと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えの下、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどぶと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成21年度は中学校1校と地域の事業者3社とが養子縁組の協定を結び、事業者からの人材派遣や教材費等の支援により、地域に根ざした環境学習を効果的に実施することができました。

(6) こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は小中学生なら誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成21年度には県内で31クラブ1,272人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

表2-4-2 平成21年度 こどもエコクラブ登録数

市町村名	クラブ数	メンバー人数	サポーター人数
徳島市	24	880	150
阿南市	4	284	117
松茂町	2	63	8
牟岐町	1	45	5
合計	31	1,272	280

※「こどもエコクラブ」は、2人以上の仲間（メンバー）と、活動を支える1人以上の大人（サポーター）で構成されます。サポーターは、子どもたちの自主的な活動をあたたかくサポートする高校生以上の方で、高校生はメンバーとしても、サポーターとしても登録することができます。

(7) 佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者である佐那河内村が3名の自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、そばづくり等の体験、希少動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っております。

表2-4-3 自然観察会等の実施状況

学 習 内 容	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回 数	参加者数	回 数	参加者数	回 数	参加者数
自然観察会	72	908	63	976	65	1,044
団体等観察会	39	446	29	405	26	783
計	111	1,354	92	1,381	91	1,827

(8) 環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成21年度には25名の方を環境アドバイザーとして任命し、合計39回派遣しました。(表2-4-4)

表2-4-4 平成21年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内容	参加人数
平成21年4月15日	貞光中央公民館	フードマイレージと環境を考える	50
平成21年5月1日	阿波海南文化村海南文化館	環境活動の紹介	60
平成21年5月14日	鳴門市第二中学校	環境学習の進め方	6
平成21年5月21日	吉野川干潟	干潟の観察	192
平成21年5月29日	鳴門市第二中学校	地球温暖化	107
平成21年5月31日	海陽町役場	地球環境とエネルギー	45
平成21年6月1日	加茂名南小学校	環境問題への取り組み	90
平成21年6月10日	鳴門市斎田公民館	環境によい生活を送るためのアドバイス	30
平成21年6月10日	徳島市川内中学校	水環境問題についての取組	177
平成21年6月15日	正法寺川公園(みどりの広場)	野外野鳥観察	98
平成21年6月21日	阿波市伊沢公民館	ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会プレゼン	20
平成21年6月21日	吉野川グランド河川敷	干潟の観察	60
平成21年6月24日	徳島県立あすたむらんど	水環境・生態系・水質	80
平成21年7月2日	青少年交流プラザ	干潟の重要性と環境問題	45
平成21年7月3日	青少年交流プラザ	干潟の重要性と環境問題	50
平成21年7月21日	小松島市総合福祉センター	今後の活動・環境問題シンポジウム	30
平成21年7月22日	小松島市立江町ふれあいセンター	カニ観察会	80
平成21年8月8日	徳島市立青少年交流プラザ	干潟観察	30
平成21年8月27日	優元快舎 とこちゃんKU	地域に根ざした環境活動	20
平成21年9月18日	社団法人吉野川青年会議所	中小企業における環境対応	30
平成21年9月8日	正法寺川公園(みどりの広場)	野外野鳥観察	98

平成21年9月28日	貞光中央公民館	ごみゼロの知「3R」で、暮らしを替えよう！	40
平成21年9月14日	県立大鳴門橋架橋記念館エディ	鳴門公園に生息する野鳥、海峡を渡る渡り鳥	15
平成21年9月26日	(株)三紅本社工場	環境経営のあり方とコンプライアンスの意識改革	25
平成21年10月15日	NPO法人ほっこりタイム	鳴門市のゴミ問題や水環境の現状	20
平成21年11月10日	川内南小学校	今後の環境教育の方向性	50
平成21年11月8日	国民宿舎大谷荘	ネイチャーゲームの実習及び意見交換会	40
平成21年11月29日	鴨島老人喜来いこいの家	地球温暖化問題	50
平成21年12月21日	徳島市立高等学校	河川の汚れやゴミが環境に及ぼす影響	670
平成21年11月24日	勝浦町環境福祉センター	リサイクルを中心とした家庭や地域での取組	76
平成22年1月20日	神山町鬼籠野公民館	地球温暖化問題	51
平成22年1月14日	正法寺川公園（みどりの広場）	野外、野鳥観察	95
平成22年1月15日	王子小学校	正法寺川を考える活動の取組を通して	21
平成22年1月26日	ふれあいセンター立江前公園	身近な鳥の紙芝居、バードウォッチング	50
平成22年2月22日	飯尾敷地小学校	フードマイレージ買い物ゲーム、アットジュースづくり	43
平成22年2月25日	神山町農村環境改善センター	消費者生活と環境	72
平成22年2月18日	阿南プラザホテル	ごみの減量とリサイクル	30
平成22年3月15日	上那賀公民館	生活環境を考える	65
平成22年3月28日	黒地公会堂	消費生活と環境	37

(9) ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取り組みについての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成21年度には5名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、10回派遣しました。(派遣状況は第2部1章1節29ページ表2-1-5)

(10) とくしま環境科学機構管理運営事業

県と県内大学の参画により、平成18年3月に設立された「とくしま環境科学機構」の管理運営を行いました。「とくしま環境科学機構」では、環境に関する「調査研究」や「情報発信」のほか、環境に関わる人材や団体を養成するため、一般県民や環境学習指導者を対象とする「とくしま環境学講座」を開講しました。(表2-4-5)

表2-4-5 平成21年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成21年5月20日～9月30日	「みんなで考える徳島の環境」	25名
平成22年2月12日～2月26日	「わたしたちができること」	25名
平成21年11月17日	「食と環境～フードマイレージワークショップ」	80名
平成22年2月19日	「学校版環境ISOと環境教育」	150名
平成22年2月25日	「環境とつながっているひと、環境でつながっているひと」	100名

2 環境月間・3R推進月間

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) モデル的リスクコミュニケーションの開催

事業者による自主的なリスクコミュニケーションを推進するため、平成22年6月4日に県内の事業所において、地域住民、事業者、行政が参加し、モデル的なリスクコミュニケーション（事業者と地域住民との意見交換会）が開催されました。会では、事業所見学、事業者による環境保全対策の説明の後、意見交換が行われました。

(2) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、5月30日の「ごみゼロの日」に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しました。関係機関や団体、事業所、学校に清掃活動を呼びかけ、環境美化意識の向上を図りました。

(3) 3R推進セミナーの実施

循環型社会の形成を推進するため、平成21年11月9日に徳島市内で「3R推進セミナー」を実施しました。節約アドバイザー武田真由美さんによる「マイバッグで環境もお財布も守ろう～真由美流マイバッグ活用節約術～」と題した講演などを行い、約80名の参加者がありました。

3 瀬戸内海環境保全月間

瀬戸内海の環境保全思想の普及、意識の高揚を図るため沿岸府県市において昭和48年度から毎年6月を環境保全月間と定め、講習会の開催、広報用印刷物の作成配布等各種普及活動事業を実施しています。

本県における、平成21年度瀬戸内海環境保全月間（6月1日～6月30日）の実施状況は次のとおりです。

(1) 啓発用ポスターの配布・掲示

瀬戸内海環境保全協会の環境保全啓発用ポスターを各種団体、事業場等に配布・掲示しました。

(2) 工場再点検

環境月間に合わせ、工場・事業場の立入検査を実施するとともに、瀬戸内海地域内の事業場、協定工場による排水処理施設の整備状況等について自主点検の実施を推進しました。

(3) 海辺の教室

瀬戸内海環境保全協会、徳島県漁業協同組合連合会、鳴門市、長原漁業協同組合の協力を得て、長原小学校（松茂町）の1～6年生41名を対象に海辺の教室を開催しました。

4 河川愛護思想の普及（水生生物による水質調査）

身近な河川の水質を知るとともに、河川の水質保全の必要性を認識してもらうこと及び水質環境の基礎的情報を得ることを目的として国土交通省では昭和59年度から、県では昭和60年度から、徳島市では昭和61年度から、小・中学生等一般市民の参加を得て水生生物による水質調査を実施しています。

平成21年度は、河川愛護月間（7月1日～7月31日）等において、国土交通省では県下の主要一級河川である那賀川や穴吹川で、県では県下の小・中学生等へ呼びかけ勝浦川等25河川で調査が行われました。

表2-4-6 水生生物調査実施状況

区 分	年 度	河 川 数	地 点 数	参加団体数	参加人員
国 土 交 通 省	H12	3	6	30	469
	13	3	6	28	587
	14	3	6	17	368
	15	3	6	17	306
	16	3	7	17	471
	17	3	4	11	304
	18	2	3	3	128
	19	3	8	10	223
	20	4	9	11	522
	21	2	2	2	115
県	H12	41	137	54	1,507
	13	38	128	69	1,716
	14	30	94	41	1,087
	15	27	73	32	935
	16	24	52	33	854
	17	19	39	30	895
	18	30	47	33	1,055
	19	28	48	30	664
	20	32	57	39	1,172
	21	25	44	30	827

5 今後の取り組みの方向性

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、こどもエコクラブ事業などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。